



# ソーシャルスキルトレーニング絵カード

幼年版 6

場面状況の理解 (言動と反応の対比)

構成：A 5判45 枚組

1	いつものように外に出て遊べず落ち着かない時は、出られない理由を確かめる。
2	お医者さんの白衣が怖い時は、先生に助けを求める。
3	羽化したばかりのちょうちょうの羽根をひっぱるのではなく、そっと観察する。
4	遊んでいる最中に「おかたづけ」と言われ、まだまだ遊びたい時は、次の予定を確かめ気持ちを切り替える。
5	手伝ってくれないのは許せないと思った時は、その子が手伝えない理由を確かめ、他の子に頼む。
6	追いかけて来て、自分のしっぽを取った子が許せない時は、それがゲームである事を思い出す。
7	鬼ごっこの最中に、そこから離れる時は、周りの子に伝えてからにする。
8	くしゃみは、つばが友だちにかからないように、その子から顔をそらしてする。
9	おしっこは、ままごとの家の中のトイレではなく、本当のトイレに行つてする。
10	自分の箸箱が空っぽの時、そばにあった友だちの箸をその中に入れるのではなく、先生に借りる。
11	相手がぶつかってきたと思った時も、一方的に責めるのではなく事実を確かめる。
12	先生に「だめ！」と制止された時は、その理由を確かめ、適切な行動をする。 (先生もただだめと言うだけではなく、子どもが落ち着いている時にどうしたら良いかを伝える)
13	自分の持ち物には名前が書いてあるが、自分の名前を書けば自分の物になるわけではない事を知る。
14	いつもと違うホールでの発表会は不安だが、いつもと同じ事をみつけて気持ちを落ち着かせる。
15	パラバルーンは、歩き回って眺めるだけでなく、すぐそばで見ることのできる事を知る。